

平成 28 年度第 1 回 フォークリフト荷役技能検定 2 級の実施結果について

陸上貨物運送事業労働災害防止協会

当協会では、フォークリフト運転技能講習修了者等を対象として、より安全で正確かつ迅速な作業を評価・認定し、労働災害の防止に寄与することを目的として、平成 27 年度より、フォークリフト荷役技能検定を実施しています。平成 28 年度第 1 回は 4 月 27 日(水)に全国 6 か所(北海道、福島、埼玉、千葉、愛知、愛媛)で検定 2 級試験を実施し(北海道は学科のみ)、学科 58 名、実技 47 名が受検、10 名が合格する結果となりました。

なお、一部合格者(学科のみ又は実技のみ合格者)の再受検者は、学科 7 名、実技 1 名の合計 8 名で、再受検者の検定合格者は、3 名(いずれも学科試験再受検者)でした。

受検者と合格者の概要

科目別 受検者	科目別 合格者	科目別 合格率	検定 合格者	検定 合格率	一部 合格者
学科 58 名	16 名	28%	10 名	19%	学科 6 名
実技 47 名	18 名	38%			実技 11 名

注 1：表中、検定合格率は、 $10 / (\text{学科及び実技受検者数} + \text{再受検者数})$ [%] により算出したもの。

注 2：表中、一部合格者は、科目別合格者のうち、検定合格者を除いた者の数を表したもの。

各試験科目の概要

試験科目	学科 (300 点満点)	実技	
		点検(200 点満点)	運転(500 点満点)
最高点	282 点	200 点	490 点
平均点	217.1 点	179 点	284.5 点

学科試験の内容は、関係法令、走行装置、荷役装置、力学、荷役一般から出題しました。このうち、走行装置、荷役装置及び荷役一般については比較的正答率が高かったものの、関係法令、力学は誤解答が多く見受けられました。荷役一般以外の設問は、フォークリフト運転士テキストから出題していますので、今一度、テキストを読み込んでいただきたいと思います。

実技のうち点検試験は、多数の受検者が合格レベルに達していましたが、「計器の作動」「クラクションの作動」等エンジンスイッチを入れる点検について、確認ができていない方が比較的多く見受けられました。

運転試験は、全般的に標準時間を大きく超えてしまった方が多く見受けられました。減点項目の中では、「指差呼称の安全確認」、走行操作時における「停止線での一旦停止位置不良」、取りおろし時及び積付け時における「パレット端面と架台端面との不一致」等で、減点された方が多く見受けられました。

運転コースレイアウトや運転試験動画は、ホームページで公表していますので、事前に内容を確認の上、練習していただければと思います。また、安全確認はこの検定に限らず、日頃から必ず実施しなければならないものですので、是非この点に留意していただければと思います。

次回の開催は10月26日（水）に予定しています。受検案内の詳細は、7月中旬にホームページに公表し、受検申請受付は、8月1日からを予定しています。今回、残念ながら不合格だった方、学科・実技のいずれかに合格された方の再度の受検をお待ちしています。